

沖縄県社保協ニュース



沖縄県社会保障推進協議会

会長 新垣安男 事務局長 高崎大史

那覇市古波蔵 4-10-53 健康企画ビル 3 階

沖縄民医連内 098-833-3397 Mail:okisyaho@gmail.com

20210109

21期 No.14

《部内資料》

沖縄のこどもたちと家族の未来を守るために
あらためて、子ども医療費無料制度の着実な年齢拡充と
現物給付化をすすめるように求める要請書

☆ テニ一知事あて提出しました

☆ 「現物給付」市町村アンケートも発表

新たに9市町村が「現物給付」の方向で検討

合計26市町村(63.4%)で半数を超える

1月8日、「子どもの医療費無料制度の着実な年齢拡大と現物給付化にむけて」県庁で要請と記者会見を行ってきました。

県保健医療部真栄城統括官が対応。「2022年度からの拡充は知事の公約でもあり実行する」「ペナルティ廃止へ力合わせたい」

「要請内容についてはしっかりと検討する」と前向きな回答。

11月27日県は子ども医療費無料制度を2022年4月から県全域で中学卒業まで拡充すると発表しましたが、

この発表を受けて、市町村はどう動くか、現物給付にふみきるかどうか、アンケート結果も発表しました。

アンケート結果

○結果は、9市町村が「現物給付化を確定もしくは検討」、4自治体が「償還払いの方向」、11自治体が「検討中」とのことでした。この通りすすめば、すでに現物給付化している17市町村に加え、2022年4月以降、26市町村が「現物給付」となり、自治体数で半数を超ることになります。

○特徴的だったのは、この短期間の間でも、多くの市町村が深く検討し、悩み、方向性を模索し続けていることです。年明け以降でも3市町村が回答修正の連絡をいただきました。

また、検討中の自治体の多くは条件がそろえば現物給付化をめざそうというものであり、まだまだ増える可能性は高い。

○しかし、現物給付化に対しては国のペナルティ(国保交付金に対する減額調整)が、修学k時以降には残されており、市町村にとっては、実施すれば「財政負担増」、実施しなければ「受診抑制、他自治体との制度の見劣り」となり、どちらを選択しても困難が待ち構えているのです。

○日本全体の未来のために政府は子どもの貧困対策や少子化対策に、国として取り組むべきであり、その一環となる「子どもの健やかな健康を守るための子ども医療費助成制度」は、本来、政府が国全体で統一した制度として行うべきものです。いわば国に代わって、実施している市町村に、ことあろうか「ペナルティ」をかけることは、本末転倒も甚だしく、強く全廃を求めるものです。

○「県民の会」はこのアンケート結果を受けて、県と市町村の努力をおおいに評価するとともに、国の制度化を求めていきます。国が実施するまでの間、沖縄県内では2022年度の制度改善を確実に実施するとともに、困難はありますが、高校生卒業まで、現物給付で独自の制度改善へ努力を続けることを要望するものです。



2020現在 2022年以降の方向性(検討中含む)

頁	市町村名	2020.10.1	すでに現物給付	現物給付	償還払い	検討中	備考(2022以降)
	国頭村	高校卒業G	○				
	渡名喜村	高校卒業G	○				
	多良間村	高校卒業G(現物給付は中卒)	○				高校=償還払いのまま
	伊江村	高校卒業G(現物給付は中卒)	○				高校=検討中
	伊是名村	高校卒業G(現物給付が中卒)	○				高校=償還払いのまま
	名護市	高校卒業G	○				
	大宜味村	高校卒業G	○				
	北谷町	中学校卒業G	○				
	中城村	中学校卒業G	○				
	南風原町	中学校卒業G	○				
	南大東村	中学校卒業G	○				
	北大東村	中学校卒業G	○				
	伊平屋村	中学校卒業G	○				
	与那国町	中学校卒業G	○				
	座間味村	中学校卒業G	○				
	渡嘉敷村	中学校卒業G	○				
	粟国村	中学校卒業G	○				
1	東村	高校卒業			○		
2	宜野座村	高校卒業			○		
3	金武町	高校卒業		○			高校まで現物給付
4	恩納村	高校卒業		○			高校まで現物給付
5	うるま市	中学校卒業				○	その他検討中
6	嘉手納町	中学校卒業		○			
7	与那原町	中学校卒業		○			
8	竹富町	中学校卒業				○	
9	北中城村	中学校卒業		○			
10	今帰仁村	中学卒業				○	
11	宜野湾市	小学校卒業				○	
12	沖縄市	小学校卒業				○	
13	那覇市	就学前		○			
14	石垣市	就学前			○		
15	浦添市	就学前				○	
16	糸満市	就学前				○	
17	豊見城市	就学前		○			
18	宮古島市	就学前			○		
19	南城市	就学前				○	
20	本部町	就学前				○	
21	読谷村	就学前				○	
22	西原町	就学前				○	
23	久米島町	就学前		○			
24	八重瀬町	就学前		○			

沖縄県内市町村のこども医療費助成制度の年齢水準の変遷

2017-2022

市町村名	2017.10.1	2018.4.1	2018.10.1	2019.4.1	2019.10.1	2020.4.1	2020.10.1	予定	予定	予定
国頭村	高校卒業	高校卒業	高校卒業G	高校卒業G	高校卒業G	高校卒業G	高校卒業G	高校卒業G	高校卒業G	高校卒業G
東村	高校卒業	高校卒業	高校卒業	高校卒業	高校卒業	高校卒業	高校卒業	高校卒業	高校卒業	高校卒業
宜野座村	高校卒業	高校卒業	高校卒業	高校卒業	高校卒業	高校卒業	高校卒業	高校卒業	高校卒業	高校卒業
金武町	高校卒業	高校卒業	高校卒業	高校卒業	高校卒業	高校卒業	高校卒業	高校卒業	高校卒業	高校卒業G
渡名喜村	高校卒業	高校卒業	高校卒業	高校卒業G						
多良間村	高校卒業	高校卒業	高校卒業G	高校卒業G(現物給付は中止)						
伊江村	中学校卒業	高校卒業	高校卒業G	高校卒業G(現物給付は中止)						
恩納村	中学校卒業	中学校卒業	高校卒業	高校卒業	高校卒業	高校卒業	高校卒業	高校卒業	高校卒業	高校卒業G
伊是名村	中学校卒業	中学校卒業	高校卒業G	高校卒業G(現物給付が中止)						
名護市	中学校卒業	中学校卒業	中学校卒業	高校卒業G						
大宜味村	中学校卒業	中学校卒業	中学校卒業	高校卒業G(12月から)	高校卒業G	高校卒業G	高校卒業G	高校卒業G	高校卒業G	高校卒業G
南風原町	中学校卒業G	中学校卒業G	中学校卒業G	中学校卒業G	中学校卒業G	中学校卒業G	中学校卒業G	中学校卒業G	中学校卒業G	中学校卒業G
北谷町	中学校卒業	中学校卒業G	中学校卒業G	中学校卒業G	中学校卒業G	中学校卒業G	中学校卒業G	中学校卒業G	中学校卒業G	中学校卒業G
粟国村	就学前	就学前	就学前	中学校卒業G						
嘉手納町	中学校卒業	中学校卒業	中学校卒業	中学校卒業	中学校卒業	中学校卒業	中学校卒業	中学校卒業G	中学校卒業G	中学校卒業G
中城村	中学校卒業	中学校卒業	中学校卒業G	中学校卒業G	中学校卒業G	中学校卒業G	中学校卒業G	中学校卒業G	中学校卒業G	中学校卒業G
与那原町	中学校卒業	中学校卒業	中学校卒業	中学校卒業	中学校卒業	中学校卒業	中学校卒業	中学校卒業	中学校卒業	中学校卒業G
南大東村	中学校卒業	中学校卒業G	中学校卒業G	中学校卒業G	中学校卒業G	中学校卒業G	中学校卒業G	中学校卒業G	中学校卒業G	中学校卒業G
北大東村	中学校卒業	中学校卒業	中学校卒業	中学校卒業G						
伊平屋村	中学校卒業	中学校卒業	中学校卒業	中学校卒業G						
竹富町	中学校卒業	中学校卒業	中学校卒業	中学校卒業	中学校卒業	中学校卒業	中学校卒業	中学校卒業	中学校卒業	中学校卒業
与那国町	中学校卒業	中学校卒業	中学校卒業	中学校卒業G						
座間味村	就学前	就学前	中学校卒業G	中学校卒業G	中学校卒業G	中学校卒業G	中学校卒業G	中学校卒業G	中学校卒業G	中学校卒業G
北中城村	就学前	就学前	就学前	中学校卒業	中学校卒業	中学校卒業	中学校卒業	中学校卒業	中学校卒業	中学校卒業G
渡嘉敷村	就学前	就学前	就学前	中学校卒業G						
今帰仁村	就学前(歯科は中止)	就学前(歯科は中止)	就学前(歯科は中止)	就学前(歯科は中止)	就学前(歯科は中止)	就学前(歯科は中止)	中学校卒業	中学校卒業	中学校卒業	中学校卒業
宜野湾市	小学校卒業	小学校卒業	小学校卒業	小学校卒業	小学校卒業	小学校卒業	小学校卒業	小学校卒業	小学校卒業	小学校卒業
沖縄市	小学校3年生	小学校3年生	小学校卒業	小学校卒業	小学校卒業	小学校卒業	小学校卒業	小学校卒業	小学校卒業	小学校卒業
那覇市	就学前	就学前	就学前	就学前	就学前	就学前	就学前	就学前	就学前	中学校卒業G
豊見城市	就学前	就学前	就学前	就学前	就学前	就学前	就学前	就学前	就学前	中学校卒業G
久米島町	就学前	就学前	就学前	就学前	就学前	就学前	就学前	就学前	就学前	中学校卒業G
八重瀬町	就学前	就学前	就学前	就学前	就学前	就学前	就学前	就学前	就学前	中学校卒業G
うるま市	就学前	就学前	就学前	就学前	就学前	就学前	就学前	就学前	就学前	中学卒業
石垣市	就学前	就学前	就学前	就学前	就学前	就学前	就学前	就学前	就学前	中学卒業
浦添市	就学前	就学前	就学前	就学前	就学前	就学前	就学前	就学前	就学前	中学卒業
糸満市	就学前	就学前	就学前	就学前	就学前	就学前	就学前	就学前	就学前	中学卒業
宮古島市	就学前	就学前	就学前	就学前	就学前	就学前	就学前	就学前	就学前	中学卒業
南城市	就学前	就学前	就学前	就学前	就学前	就学前	就学前	就学前	就学前	中学卒業
本部町	就学前	就学前	就学前	就学前	就学前	就学前	就学前	就学前	就学前	中学卒業
読谷村	就学前	就学前	就学前	就学前	就学前	就学前	就学前	就学前	就学前	中学卒業
西原町	就学前	就学前	就学前	就学前	就学前	就学前	就学前	就学前	就学前	中学卒業

* 2018年10月1日から就学前まで全自治体で現物給付化

2021年1月8日

沖縄県知事
玉城デニー 殿

子ども医療費無料制度を広げる沖縄県民の会
沖縄県保険医協会

会長 仲里尚実
母親大会県連絡会 共同代表
久手堅幸子 瀬底律子
沖縄県社会保障推進協議会
会長 新垣安男

沖縄のこどもたちと家族の未来を守るために あらためて、子ども医療費無料制度の着実な年齢拡充と 現物給付化をすすめるように求める要請書

沖縄県は11月27日、「2022年4月から県内全域で中学卒業まで医療費無料制度を拡充する」と発表しました。「子ども医療費無料制度を広げる沖縄県民の会」(以下「県民の会」として歓迎し、決断を高く評価するものです。

県の発表以降、新たな前進が始まっています。中学卒業までの現物給付化では、那覇市が2022年度、嘉手納町が2021年度から実施を表明。2022年度から現物給付の方向で検討している7自治体(豊見城市、与那原町、久米島町、金武町、八重瀬町、北中城村、恩納村)とあわせると9自治体増えて26自治体になり、県内自治体数の半数を超えます。また、高校卒業までの拡大も3自治体(北谷町、南風原町、粟国村)が検討しています。そうなれば、2018年4月以降の4年間で、沖縄県内の子ども医療費無料制度は償還払いも含めて、中学卒業までで22自治体(54%)から41自治体(100%)へ、高校卒業までが7自治体(17.1%)から14自治体(34.1%)へ倍加、現物給付は2自治体(4.9%)から26自治体(63.4%)へ飛躍的に改善されることになります。しかしながら「償還払いをベースに市町村が独自に現物給付にする制度設計」です。「現物給付化」は、経済的理由で受診をためらうことがないよう健やかに生きる権利を保障するためのものです。

政府は安易な受診が広がるとして「国保の国庫負担金減額調整」(ペナルティ)を課していますが、長崎県保険医協会の本田孝也医師の論文でも明らかなとおり、厚生労働省のデータでも「安易な受診」や「医療費膨張」につながっていないことは証明されています。

「県民の会」として、2022年度の確実な拡充実施を後押しするとともに、市町村が現物給付化への大きな障壁とする「国のペナルティ」全廃へ共同の輪を広げてまいります。そして、県内自治体には独自の拡充をめざすよう求めていきます。

2018年12月に「成育過程にある者およびその保護者並びに妊産婦に対し、必要な成育医療等を切れ目なく提供するための施策を総合的に推進する」ことを目的とした成育基本法が全会一致で成立しています。この法律の趣旨を活かし、実効あるものとするためにも国による子ども医療費無料制度創設は重要です。

「県民の会」は、引き続き、18歳までの医療費を完全無料とする国の制度化を求めるものです。何よりも、未来を担う子どもたちの健やかな成長と笑顔のために。

以下、要請します

記

1. 2022年4月から中学卒業まで沖縄県全域における子ども医療費無料化の確実な実施をお願いします
2. 国による現物給付に対するペナルティ(国保の国庫負担金減額調整)を全廃するよう国へ強く要請すること。市民の運動へもご賛同お願いします。
3. ペナルティ全廃されるまでの間、市町村負担分へ県からの支援を検討すること
4. 18歳まで「所得制限なし」「一部負担なし」「現物給付」の医療費無料化を国の制度として創設するよう国に強く要請すること

以上